

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃大町まちなか歩き促進事業
事業主体 (連絡先)	大町市プロモーション委員会 大町市大町 3177 番地
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,454,000 円 (うち支援金 : 2,763,000 円)

事業内容

①インバウンド向け観光コンテンツの受入態勢整備及び販売

- (1) インバウンド受入態勢整備
- (2) 体験型コンテンツの販売・管理

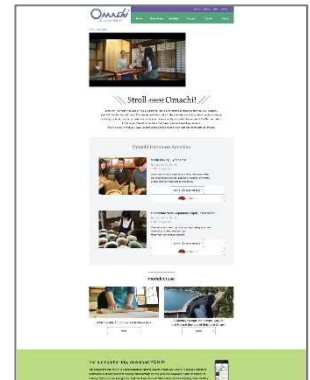
②信濃大町まちなか歩き促進プロモーション

(1) 昨年実施のモニターツアーで作成したインバウンド向け体験プログラム(モデルコース)を国内観光客へも紹介するために、YORIP アプリ内で国内向けにリライトし掲載

(2) 既存の大町市観光サイト「信濃大町なび」内に信濃大町まちなか歩き促進の特設ページを作成する



(体験マニュアル)



(まちなか歩き促進ページ)

【目標・ねらい】

- ①インバウンド向け体験型コンテンツを整備、販売することで、実集客を呼び込む
- ②YORIP や既存のサイトを活用し継続的な情報発信を行うことで長期的な誘客を目標とする

※自己評価 【 B 】

【理由】

体験プログラムの販売については、秋の販売開始と同時期に台風19号の影響を受けたため、集客に困難が生じた。しかし本事業においては体験プログラムの造成及び、YORIP アプリ及び WEB サイトでの訴求を目的としており、今後の集客に期待できるものであり、来年度以降引き続き利用できるものである。また、受入態勢の強化に伴い、店側の不安が払しょくできたことは評価できると考える。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①昨年のモニターツアーの意見をもとに、訪日外国人にとってより魅力的な体験型コンテンツの造成ができた。受入れ側の店についても、マニュアル等を作成することで言語による不安を払拭することに繋がった。

※12/27時点 販売実績 0件

②YORIP アプリ内のモデルコースに体験プログラムを加え、さらに既存の市観光協会HPと繋げることで、長期的な訴求を期待できるようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

大町市及び立山黒部アルペンルート、また白馬小谷等の近隣地区のインバウンド入込が増加している昨今において、立山黒部のオフシーズンや雨の日など、季節や気候に左右されないプログラムの充実が求められる。本事業については、引き続きプログラムの販売と店側のサポートを行い、市内各店舗インバウンド受入れを進めていくとともに、今後はプログラム内容の充実をはかり、また時期に合わせた訴求方法を検討していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある